

1. パブリックコメントや関係団体からの意見を受けての議論 (前回の議題)

2. 「当面の間」の推進方策 (今回の主な議題)

(各主体が選択できるようにするための環境整備)

- ① 「当面の間」のデジタル教科書の段階的な導入
- ② デジタル教科書の効果的な活用方法の発信
教員の指導力向上
- ③ アカウント管理等の負担軽減
- ④ 健康影響への対応
- ⑤ ICT環境の整備

3. 制度面の検討事項 (次回以降の主な議題)

- 検定の在り方
 - ・ 検定の対象範囲と機能の扱い
 - ・ 検定の方法 (教科用図書検定調査審議会での検討)
- 採択の在り方
- 発行・供給の在り方
- 著作権の権利制限との関係
- 教科用特定図書等との関係

<参考>今後のスケジュール感（仮定）（第5回WG資料から一部更新）

- 遅くとも新しい学習指導要領が始まるまでに、それに対応した教科書が使用できるようにすることを念頭におく。
- 仮に新しい学習指導要領の検討が前回と同じスケジュール感で進むと仮定すると、**WGで検討した上で、2026(令和8)年度までに様々な制度的な整備が必要。**

